

運営部会の検討内容

資料 2

分類	課題調査部会の検討内容			運営部会の検討内容	実施の可能性
	取組内容	具体的な実行方法	考えられる実行主体		
中原区の魅力を活かした地域住民の交流	地域・区民・区民会議の取組	<p>ワークショップには、子どもも参加できるような内容になるように配慮する。 ワークショップは、次のような内容が考えられる。</p> <p>1) 中原区の魅力資源の確認 区制40周年記念写真集等の既存資料をもとにして中原区の40年の振り返り、中原区の魅力を確認する。</p> <p>2) 中原区の魅力についての意見交換 ワークショップ参加者による中原区の魅力について話し合い、どのような魅力があるか出し合う。</p> <p>3) 中原区の魅力の整理 意見交換で出された意見を整理して中原区にどのような魅力があるのか整理する。</p>	<p>■ワークショップ実行委員会の発足 ワークショップ実行委員会の発足して開催する。実行委員会に参加する団体は、次のものが考えられる。</p> <p>○歴史文化、観光に関わる団体 ○区制40周年記念写真集作成委員会委員 ○区民会議 ○区役所</p>	<p>ワークショップは、さまざまな年代の人が集まって中原区の魅力を出せるので、区の魅力を把握するためには有効だと思う。</p> <p>ワークショップを通じて中原区の新しい魅力が発見できる。</p> <p>ワークショップを通じて中原区の魅力を発信できる。</p> <p>新旧住民交流、多世代交流に有効だと思う。</p>	<p>中原区の魅力を再発見することや新旧住民、多世代交流に有効なので実施の方向で考える</p>
	区民と行政の協働による取組	<p>■紙芝居、カルタの作成</p> <p>■区内の学校やわくわくプラザ、こども文化センター等での活用 ・区内の学校やわくわくプラザ、こども文化センターに配布し、授業や子どもたちの遊びやイベントで活用する。 ・学校では、地元の歴史学習などにつなげてもらう。</p> <p>■中原図書館で紙芝居の実施 ・中原図書館が開催しているおはなし会などで活用する。</p> <p>■紙芝居やカルタのダウンロード ・多くの人が紙芝居やカルタで楽しめるように、ホームページからダウンロードできるようにする。</p> <p>■電子紙芝居の作成 ・パワーポイントなどを使った絵に動きがある紙芝居を作成する。</p>	<p>■作成委員会の発足 作成委員会を立ち上げて作成を行う。 編集委員会の参加団体は、次のような団体が考えられる。</p> <p>○歴史文化、観光に関わる団体 ○イラスト作成ができる人もしくは団体（市内の大学などとの連携） ○区民会議など</p>	<p>魅力発見ワークショップで出されたものが、カルタや紙芝居のネタとなる。</p> <p>紙芝居は、ストーリー性のあるテーマを見つける必要がある。</p> <p>過去に防災紙芝居を制作したことがあるので、その経験を活かすことができる。</p> <p>紙芝居やカルタを作成するだけでなく、併せてゲーム性を持たせるなど、子どもたちに興味を持ってもらえる工夫が必要である。</p> <p>紙芝居を子育てサロンで行うと有効だと思う。しかし、あまり長い内容になると飽きてしまうので、工夫する必要がある。</p> <p>カルタの作成については、カルタのもととなる素材を集めることやデザインなどの作成を考えると時間がかかってしまう。スケジュール的に難しいのではないかと考える。</p>	<p>紙芝居については、中原区の魅力を子どもたちに伝えるために有効であることや魅力発見ワークショップの成果を活かせることなどから、実施の方向で考える。</p> <p>カルタについては、カルタのもととなる素材集めやデザインに時間がかかるので、スケジュール的に難しいと考える。</p>

分類	課題調査部会の検討内容		考えられる実行主体	運営部会の検討内容	実施の可能性
	取組内容	具体的な実行方法			
中原区の魅力を活かした地域住民の交流	区民と行政の協働による取組	<p>区内でつくられているものを「なかはらブランド」として位置づけ、区内に広くPRする。</p> <p>■なかはらブランド冊子の作成 ・なかはらブランドを紹介する冊子の作成。</p> <p>■なかはらブランドワッペンを作成 ・なかはらブランドワッペンを作成し、なかはらブランドに選考されたものに付けて販売する。</p> <p>■川崎市で認定された中原区産のものPR ・かわさきものづくりブランド、かわさき育ちなど、市全体でブランド化されている中原区産のものを取り上げ、市政だより区版やホームページでPRする。また、なかはらメディア・ネットワーク参加企業にそれらのPRを依頼する。</p>	<p>■選定委員会の立ち上げ ○区内の歴史文化や観光に関わる団体 ○商店会 ○区民会議等</p>	<p>公平性等の問題があるので、なかはらブランドの選定方法が難しい。</p> <p>公平性の面から選定委員を選出することが難しい。</p> <p>商品をブランド化していくことについては、責任が伴い慎重に行う必要がある。</p> <p>他都市でもブランド認定を行っているところがある。どのように認定しているのか調査する必要がある。</p>	<p>なかはらブランドの選出方法や選出されたものを選定する方法に課題がある。また、他都市でもブランド認定事業を行っているので、認定方法などを調査し実現性を検討していく。</p>
		<p>多くの区民に中原区のものづくり技術を知ってもらうために、学校の生徒や親子で楽しめる中原区のものづくりの体験やPRを行う。</p> <p>■ものづくりに関する出前授業 ・区内の学校でものづくりに関する授業を取入れ工場関係者が出前事業を実施。</p> <p>■展示会場の設置 ・多くの人が目に留まる場所に区内でつくられた工業製品の常設展示場所を設置。(区役所や市民館等)</p> <p>■万華鏡工作を広く販売・配布 ・等々力工業会で販売している万華鏡等を区役所などの公共施設で販売。 ・区内のこども文化センターやわくわくプラザなどで活用。 など</p>	<p>○区内の町工場に関わる団体 ○区民会議等</p>	<p>すでにチーム等々力が区役所や市役所とタイアップしてものづくり教室を開催している。</p> <p>ものづくりとは、工業だけではないと思う。商品づくりなど、もっと広く捉える必要がある。</p> <p>すでに取組を行っている団体にどのようなPRを行っているか、やり方を調査する必要がある。</p>	<p>工業だけでなく、企業や商業も含めて中原区のものづくりを考え、すでに実施している団体を調査し、PR手法を検討する。</p>
		<p>中原区の魅力を案内するボランティアガイドを養成する講座を開催する。</p> <p>■区内の名所やコース紹介 ・イベントで巡る名所やコースを紹介。</p> <p>■イベントの開催方法 ・イベントの周知方法や運営方法、名所の案内の方法等、イベント開催方法のレクチャー。</p> <p>■資料・情報の提供 ・名所を巡るイベントを開催する際に必要な資料や情報の提供。 など</p>	<p>○歴史文化、観光、散策等に関わる団体 ○区民会議等</p>	<p>中原区では、散策ガイドの会、なかはら20年構想委員会、歩こう会などすでに区の魅力をガイドする取組が実施されているので、そのような団体と連携しながらできるのではないかな。</p> <p>ボランティアガイドのニーズがどのくらいあるか知る必要がある。</p>	<p>団体との連携の可能性を調査する。</p> <p>ボランティアガイドのニーズを把握する。</p>

分類	取組内容	課題調査部会の検討内容		運営部会の検討内容	実施の可能性	
		具体的な実行方法	考えられる実行主体			
情報発信に関わる取組	区民と行政の協働による取組	<p>■なかはらメディアネットワークとの意見交換</p>	<p>中原区魅力発見ワークショップ等で出された区の魅力に関する情報を踏まえて、なかはらメディア・ネットワーク参加企業と情報発信方法に関する意見交換を行う。</p>	<p>○区民会議等</p>	<p>参加企業から情報発信の方法を教えてもらうというより、市民から情報を提供し、効果的に発信してもらうことを検討する。</p>	<p>市民から情報を提供し効果的に発信してもらうための意見交換を実施する方向で考える。</p>
		<p>■なかはらメディアネットワーク情報コーナーの活用</p>	<p>なかはらメディアネットワーク情報コーナーを活かして、中原区の魅力や市民活動団体の活動状況に関する情報発信を行う。</p> <p>現在、なかはらメディアネットワーク情報コーナーは、区役所、保健所、市民館、図書館、タワープレイスに設置されているが、多くの人の手にとってもらうため、さらに市民の目につくところに設置する。</p>	<p>○区民会議</p>	<p>情報コーナーについては、多くの人の目につく場所に設置する場所を検討することと併せて、人の目に留まる設置の仕方、見せ方についても工夫が必要である。</p>	<p>実施の方向で考える。情報コーナーの設置にあたっては、情報を多くの人の手に取ってもらうような工夫をする。</p>
	行政の取組	<p>■メールマガジンの発行</p>	<p>メールマガジンで区内の市民活動団体の活動状況を紹介する。</p> <p>ホームページの情報が更新されるごとにメールマガジンに掲載して配信する。</p>	<p>○区役所</p>	<p>区役所や保健センターなどに来た人にメールマガジンの登録をお願いする。</p> <p>区内で活動する団体と連携して、メールマガジンに登録してもらうようにPRする。</p> <p>メールマガジンの情報に防災情報などを入れたら登録者が増えると思う。</p>	<p>区役所や保健センターなどに来た人に登録を促すことや区内で活動する団体と連携して、メールマガジンに登録してもらうようにPRする。このため、実施の方向で考える</p>